

記録・情報伝達の必要性
確認テスト

第3回 情報が行動のきっかけになる③

問題1

記録を書くときのポイントを3つ書きなさい。

問題2

書き方のポイントで間違っているものを選びなさい。

- ①読む人のことを考えて簡潔に書く必要があるが箇条書きは避けた方がよい。
- ②見たこと聞いたことをそのまま書き感情や推測は入れないようにする。
- ③会話ができる利用者の場合は会話そのものを書くことによって正確に情報が伝わる。
- ④表情やしぐさ、態度を正確に書くことによって痛みの程度などの推測が可能になる。
- ⑤長い文は主語と述語が不明確になり意味の読み取りが難しくなってしまう。

問題3

職員の推測が入っている記録をえらびなさい。

- ①居室前を通るとベッド柵を右手で持ち、ベッドに背中をつけて長坐位の状態だった。
- ②トイレで扉側に頭をむけ膝を少し曲げ左側臥位の状態だった。
- ③便器の前でズボンを下ろし床にお尻をつけ両ひざを少し曲げて座った状態だった。
- ④居室で窓側に頭を向けて仰臥位の状態だった。利用者の右側に椅子が背もたれを床につけて倒れていた。
- ⑤シルバーカーに座っていたのか背部後方にシルバーカーがあり尻もちをついていた。

ワーク

- ①今日（最近）、書いた記録を思い出し、その中の1つを「書き方のポイント」に沿って書き直してみる。
- ②書いたものを発表し、他職員に伝わっているかなどアドバイスし合う。

記録・情報伝達の必要性

確認テスト (解答)

第3回 情報が行動のきっかけになる③

問題1

記録を書くときのポイントを3つ書きなさい。

- ①簡潔に書く
- ②事実を具体的に書く
- ③5W1Hを活用する

問題2

書き方のポイントで間違っているものを選びなさい。

- ①読む人のことを考えて簡潔に書く必要があるが箇条書きは避けた方がよい。
- ②見たこと聞いたことをそのまま書き感情や推測は入れないようにする。
- ③会話ができる利用者の場合は会話そのものを書くことによって正確に情報が伝わる。
- ④表情やしぐさ、態度を正確に書くことによって痛みの程度などの推測が可能になる。
- ⑤長い文は主語と述語が不明確になり意味の読み取りが難しくなってしまう。

①

文章が苦手な人は特に、長く書こうと思わず伝えなければいけない内容を箇条書きで書くことも1つの方法である。

問題3

職員の推測が入っている記録をえらびなさい。

- ①居室前を通るとベッド柵を右手で持ち、ベッドに背中をつけて長坐位の状態だった。
- ②トイレで扉側に頭をむけ膝を少し曲げ左側臥位の状態だった。
- ③便器の前でズボンを下ろし床にお尻をつけ両ひざを少し曲げた座った状態だった。
- ④居室で窓側に頭を向けて仰臥位の状態だった。利用者の右側に椅子が背もたれを床につけて倒れていた。
- ⑤シルバーカーに座っていたのか背部後方にシルバーカーがあり尻もちをついていた。

⑤

実際にシルバーカーに座っている所も尻もちをついたところも見えていないため。